令和７年４月２５日
教育課程企画特別部会
参考資料１－４

「見方・考え方」が提起された経緯

資質・能力基盤の学力論を3つの層で考える視点（三つの視点）を提示

ア）教科等を横断する汎用的なスキル（コンピテンシー）等に関わるもの
　①汎用的なスキル等としては、例えば、問題解決、論理的思考、
　　コミュニケーション、意欲など
　②メタ認知（自己調整や内省、批判的思考等を可能にするもの）

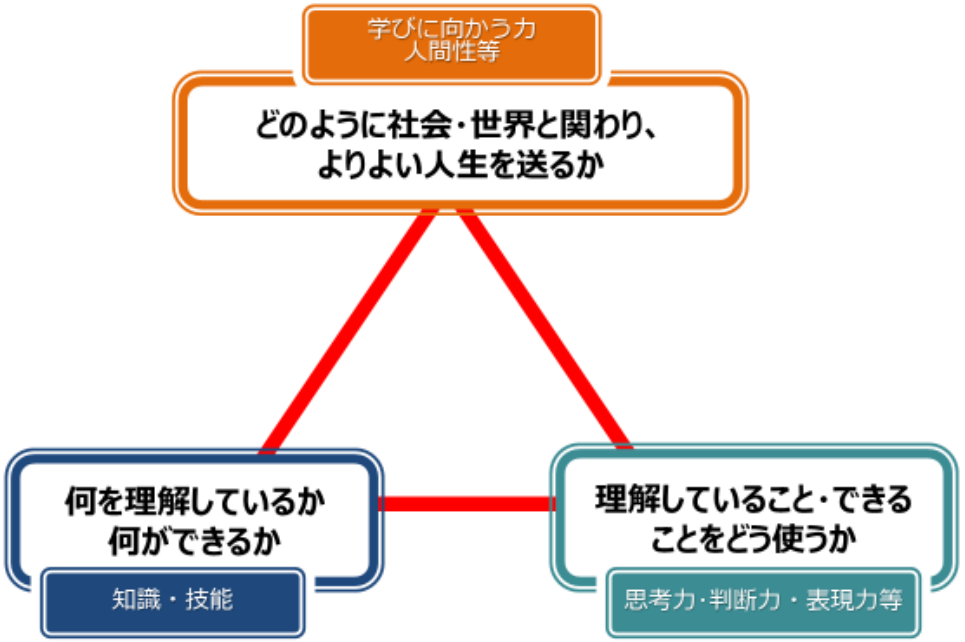
イ）教科等の本質に関わるもの（教科等ならではの見方・考え方など）

ウ）教科等に固有の知識や個別スキルに関するもの

2014年3月31日「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会－論点整理－（主なポイント）」より

「三つの柱」と「三つの視点」

- 三つの柱と三つの視点では、学力という立体的な構造体をどの断面で切って見せるかの角度が異なる
- どちらも高い妥当性・・・一種のモデル、表現でしかない
- 三つの柱：学校教育法30条2項との整合性

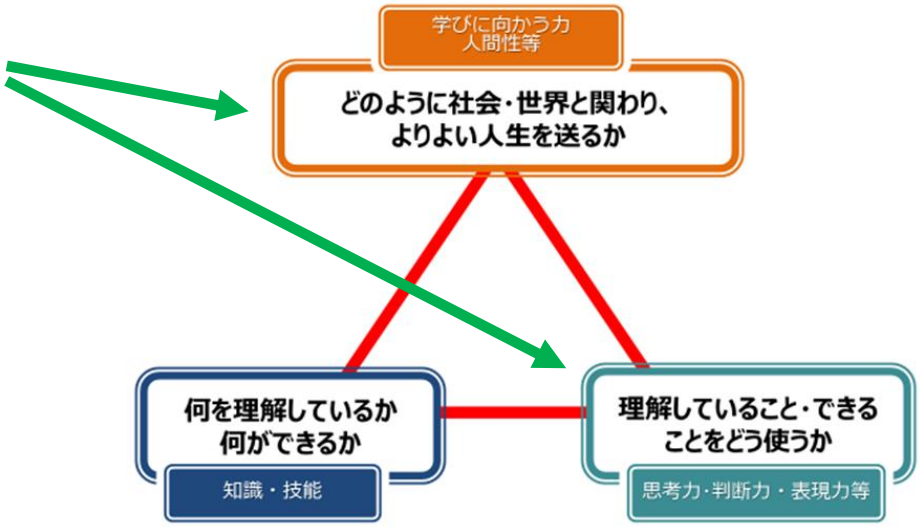


「三つの柱」と「三つの視点」

- 三つの視点と三つの柱の関係：

①ア）教科等を横断する汎用的なスキルは「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の2つと対応

ア）教科等を横断する汎用的なスキル（コンピテンシー）等に関わるもの



「三つの柱」と「三つの視点」

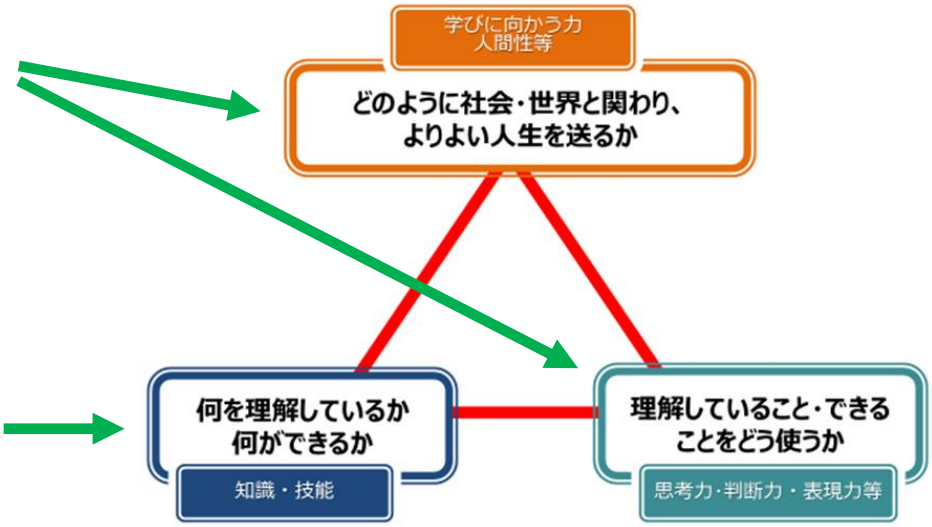
- 三つの視点と三つの柱の関係：

①ア）教科等を横断する汎用的なスキルは「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の2つと対応

②ウ）教科等に固有な知識や個別スキルは「知識・技能」と対応

ア）教科等を横断する汎用的なスキル（コンピテンシー）等に関わるもの

ウ）教科等に固有の知識や個別スキルに関するもの



「三つの柱」と「三つの視点」

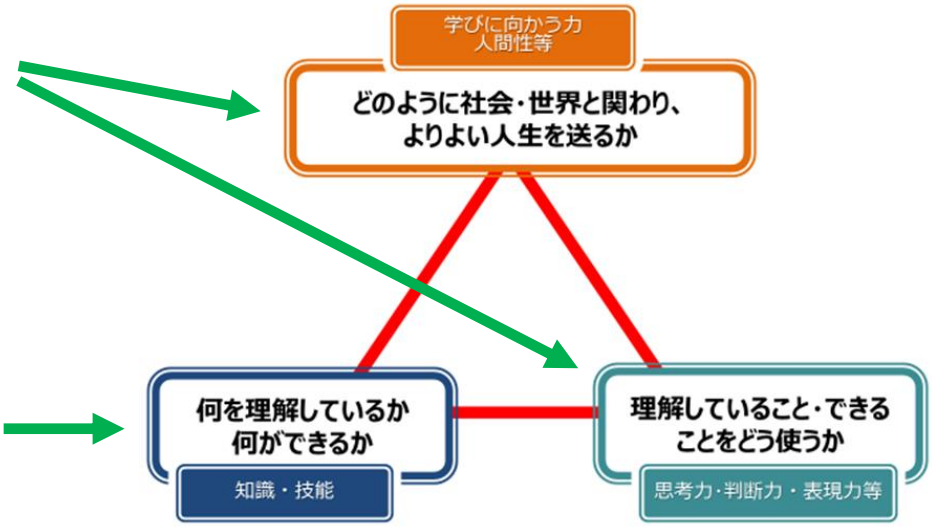
- 三つの視点と三つの柱の関係：

①ア）教科等を横断する汎用的なスキルは「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の2つと対応

②ウ）教科等に固有な知識や個別スキルは「知識・技能」と対応

③イ）教科等の本質のみが残る→資質・能力とは別建てで、「見方・考え方」として各教科等の目標に位置づく

ア）教科等を横断する汎用的なスキル（コンピテンシー）等に関わるもの

イ）教科等の本質に関わるもの（教科等ならではの見方・考え方など）

ウ）教科等に固有の知識や個別スキルに関するもの